

支援だより 第4号



県立金沢支援学校 連携支援グループ 地域支援チーム 令和5年12月

今回の支援だよりは、金沢動物園の出前授業、並木第一小学校との学校間交流、インクルーシブ公園についての3本立てになっています。そして、今回は学校PTのコラムも載せています。ぜひご一読ください。

金沢動物園の方に出前授業をして頂きました

小Aでは遠足の事前学習として、金沢動物園の「出張どうぶつえんスクール」を受講しました。「キリンの身長は?」「だれのくちばし?」といったクイズに答えたり、動物や動物園についてのスライドを見たりして、色々な動物について知り、普段動物に接しているスタッフさんならではの話を聞くことが出来ました。本物の動物のツノや骨に実際に触ることができ、その大きさや手触り、迫りに驚きました。



並木第一小学校と学校間交流を行いました

12月8日(金)に並木第一小学校4年生と、本校小学部A部門3, 4年生、B部門4年生の児童で交流を行いました。交流はなんと3年ぶりの開催です。今回は、横浜市パラスポーツ協会の方々をお招きし、ポッチャを行いました。並木第一小学校の子どもたちがつくってくれたピンを倒すと、本校の児童も笑顔が見られ、ハイタッチをするなど喜びを分かち合う様子が見られました。同じ地域の仲間たちと楽しく交流することができました。



金沢区にインクルーシブ遊具広場ができました

令和5年9月に金沢区長浜エリアに小柴自然公園の第一期エリアが開園しました。もともとは在日米軍小柴貯油施設の跡地だったものを整備して広域公園として整備された公園です。園内は平坦で広々としており、芝生広場や障害の有無にかかわらず誰もが利用できることを目指した遊具広場（インクルーシブ遊具広場）があります。

さっそく行ってみると、車いすのまま乗ることができる回転遊具や、体幹や姿勢が不安定な子ども達も利用できる固定具つきのブランコ等がありました。その他にも、遊具の一部が太鼓や鉄琴になっていたり、うずまきのパネルを回せたりする等、五感で楽しむことができる要素がたくさん散りばめられていました。広場内はクッション性のあるラバーマット素材が床になっています。ぜひ、おでかけしてみてください。



PTのつぶやき



【骨の成長について】

先日、本校に立位台（プローンボード）が導入されました。立ったり歩いたりする機会が少ない子どもにとって、足に体重をかけることは、骨折を防ぎ、骨を強くする為にとっても大切です。骨折しやすい子どもが増えていると言われていますが、骨の成長のためには①運動（骨に負荷をかける）②食事（カルシウム、ビタミンD、ビタミンKの摂取）③日光浴（屋外散歩、運動）が必要です。骨粗鬆症の予防には、骨が作られる20歳頃までに骨量を高めることが大切です。



PTからのお願い

ご家庭で不要になった保護帽がありましたら、学校にお譲りいただくと助かります

